

第 3 調查研究

第3 調査研究

1 多目的コホート研究事業

(1) 事業概要

独立行政法人国立がん研究センターのがん研究開発費（平成21年度までは厚生労働省がん研究助成金）を原資に、日本人に適した予防医学実践のための科学的根拠の材料となるエビデンス作りを目的として実施されている大規模疫学研究のひとつとして位置づけられる。

平成2年開始のコホートⅠ地区（全国5保健所）と平成5年開始のコホートⅡ地区（全国6保健所）の11保健所管内29市町村で実施している。沖縄県中部保健所管内はコホートⅠ地区に属し、うるま市（旧具志川市）と恩納村で平成元年12月31日に在住していた昭和5年から昭和24年生まれの方14206名を対象として追跡している。

(2) 研究方法

対象者の①死亡の確認と死因の把握、②異動状況、③がん・循環器疾患の登録の状況を収集する。

(3) 倫理面への配慮

多目的コホート研究における個人情報保護・安全管理マニュアルを遵守し管理。

(4) 研究成果の要旨

平成30年度フォローアップ調査等の概要は次の通りである。

対象者の追跡状況について、平成30年の死亡は234件、転出32件、再転入12件、転居が184件であった。

対象者14,206名のうち、研究開始から28年で3,770名(26.5%)が死亡した。

罹患状況について、平成26年のがん罹患は計176件で、臓器別では大腸がんが38件で最も多かった。平成26年までの累積は計2,739件で、大腸がんが最も多く607件(22%)である。

死亡状況について、平成29年の死亡はがん65件で、臓器別では肺がん16件、大腸がん12件、胃がん4件、肝がん4件の順で多かった。心疾患による死亡は46件で、うち16件が虚血性心疾患によるものであった。脳血管疾患による死亡は計14件であった。

平成29年までの累積ではがんによる死亡が1,282件(36%)で最も多く、次いで心疾患456件(13%)、脳血管疾患305件(9%)の順が多い。

過去27年間のがん死亡の部位分布をみると、肺がん(22%)、大腸がん(17%)、胃がん(8%)の順が多い。

平成26年までのがん主臓器のI/D比をみると、中部地区では大腸がん、胃がん、子宮がんにおいてコホートⅠ地区を下回っている。

(5) 研究成果

ア 対象者の追跡状況 (対象者14,206名)

(単位：人)

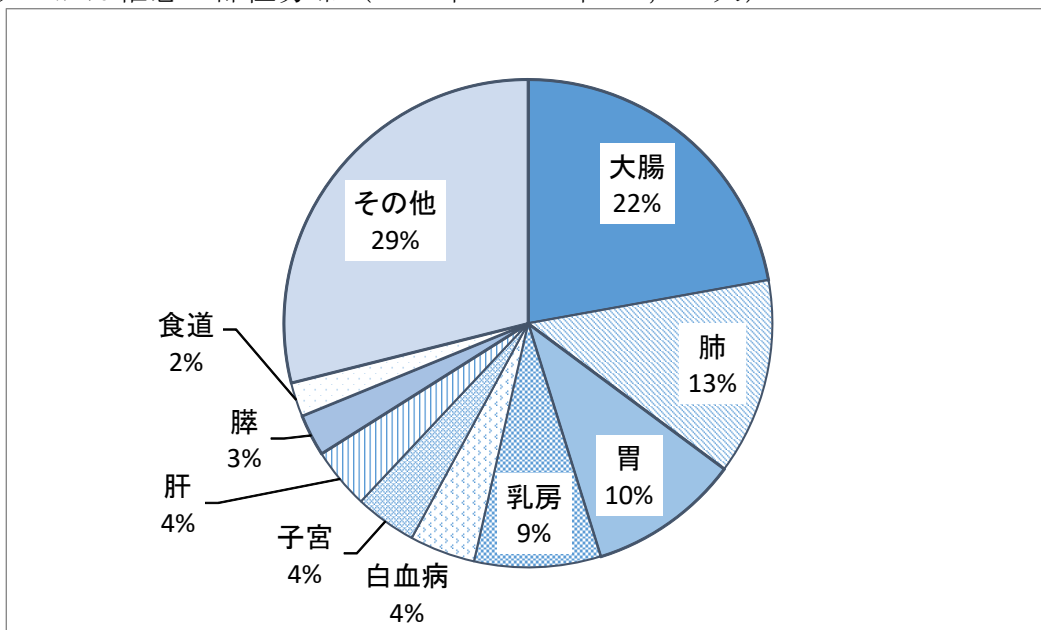
	対象者の追跡状況					
	死亡	転出	再転入	転居	不明	職権削除
1990～2017年	3,536	4,637	974	6,392	142	59
2018年	234	32	12	184	2	2
計	3,770	4,669	986	6,576	144	61

イ 疾病罹患状況

(単位：人)

		2014年	累積
がん(部位別)	食道	3	62
	胃	17	275
	大腸	38	607
	肝	9	111
	膵	7	76
	肺	31	356
	乳房	9	229
	子宮	2	112
	白血病	7	119
	その他	53	792
	計	176	2,739

ウ がん罹患 部位分布 (1990年～2014年 2,739人)

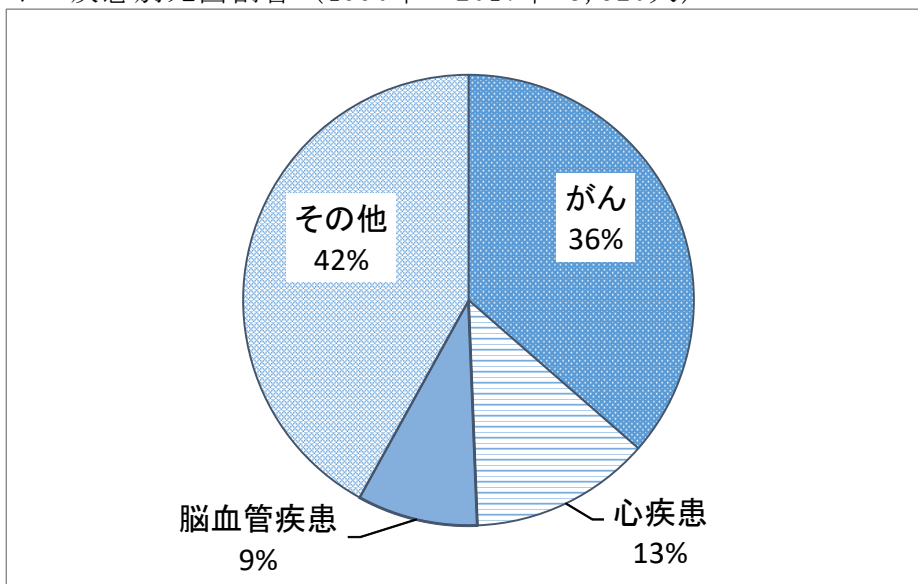


エ 疾病別死亡状況（登録対象疾病のみ）

（単位：人）

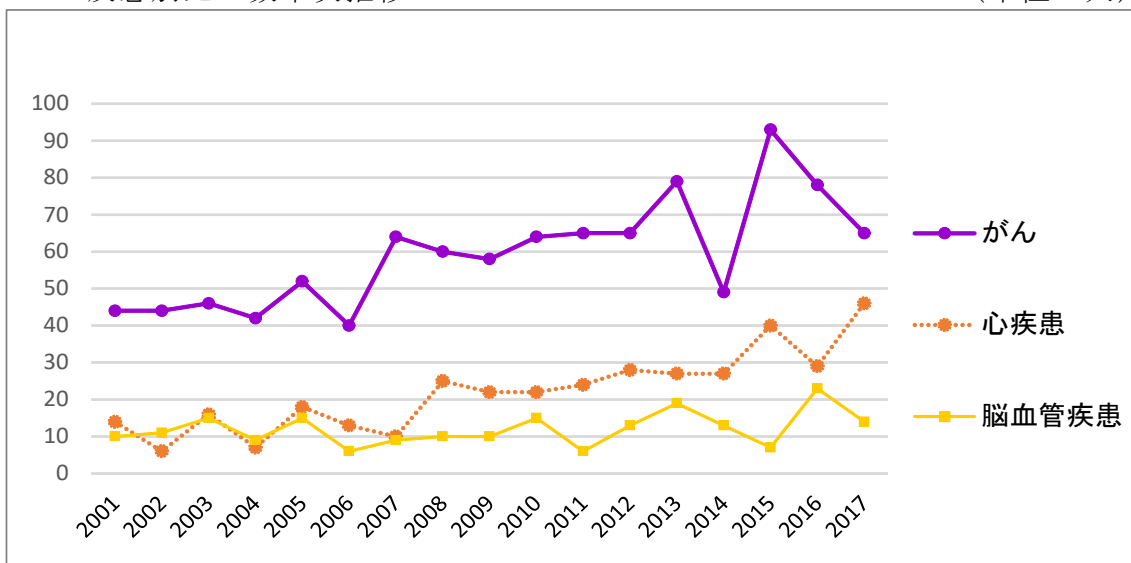
1990-2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	合計
9	1	2	1	0	3	2	4	3	0	3	1	3	0	1	6	1	1	41
35	6	2	6	2	4	4	6	1	2	4	5	4	5	3	8	5	4	106
50	7	8	6	7	8	4	12	14	12	9	9	12	15	5	13	12	12	215
18	2	2	5	5	5	7	2	4	2	6	4	2	6	5	6	3	4	88
52	11	6	9	9	6	7	12	7	16	14	17	14	20	16	25	25	16	282
14	0	1	1	4	2	0	0	1	4	2	2	2	2	0	4	1	1	41
10	1	2	0	0	2	1	3	0	2	2	1	1	1	1	2	1	1	31
86	16	21	18	15	22	15	25	30	20	24	26	27	30	18	29	30	26	478
274	44	44	46	42	52	40	64	60	58	64	65	65	79	49	93	78	65	1,282
38	10	5	10	4	12	10	6	11	15	11	17	16	16	16	24	15	16	252
44	4	1	6	3	6	3	4	14	7	11	7	12	11	11	16	14	30	204
82	14	6	16	7	18	13	10	25	22	22	24	28	27	27	40	29	46	456
65	9	4	8	4	6	4	4	3	5	5	2	6	9	6	0	11	3	154
13	0	6	2	2	4	1	1	2	1	3	0	3	3	1	2	5	1	50
22	1	1	5	3	5	1	4	5	4	7	4	4	7	6	5	7	10	101
100	10	11	15	9	15	6	9	10	10	15	6	13	19	13	7	23	14	305
456	68	61	77	58	85	59	83	95	90	101	95	106	125	89	140	130	125	2,043

オ 疾患別死因割合（1990年～2017年 3,520人）

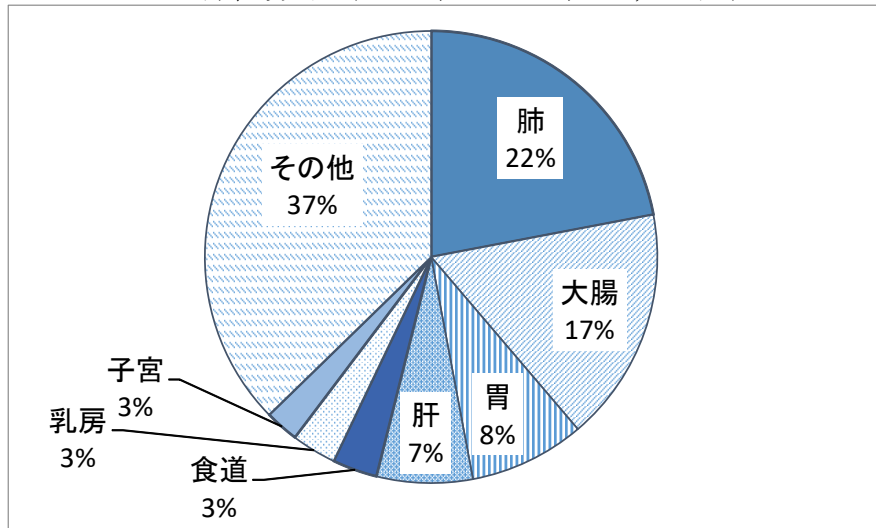


カ 三疾患別死亡数年次推移

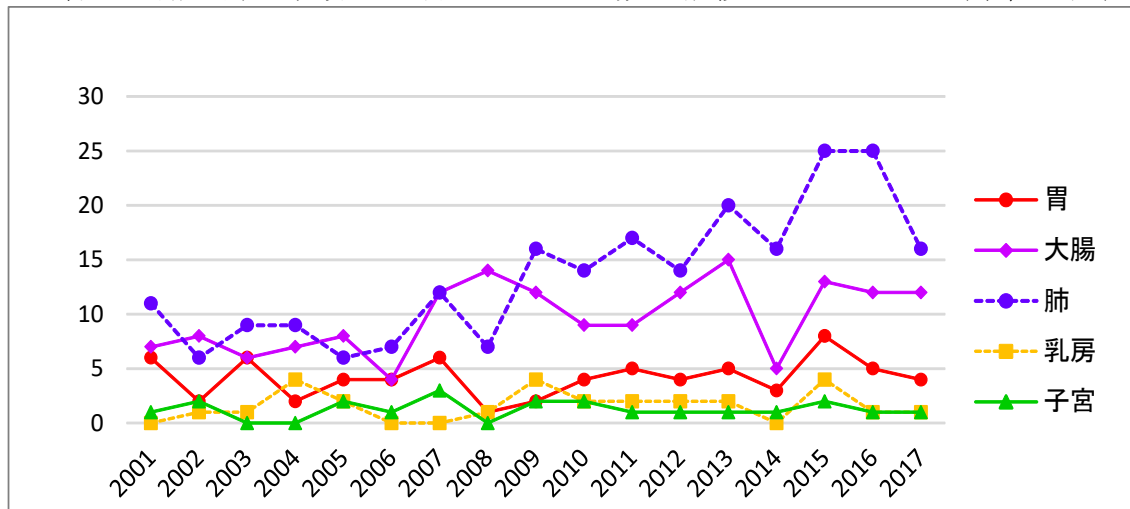
（単位：人）



キ がん死亡部位分布（1990年～2016年 1,282人）



ク 胃・大腸・肺・乳房・子宮がんの死亡数の推移（単位：人）



ケ がん主臓器のI/D比

がん主臓器のID比	中部			コホート I		
	罹患	死亡	I/D比	罹患	死亡	I/D比
1990-2014						
全部位	2,739	1,046	2.62	11,830	4,218	2.80
大腸	607	178	3.41	2,484	544	4.57
胃	275	89	3.09	2,117	595	3.56
肺	356	216	1.65	1,323	829	1.60
乳房	229	35	6.54	773	138	5.60
子宮	112	27	4.15	328	78	4.21

(6) 公開講座の開催（宜野湾市主催の健康づくり市民大会の中で開催）

日時 平成30年10月21日（日）11:00～11:45

場所 宜野湾市立体育館

演題 「こんなにある！運動による健康効果～科学的根拠にもとづいて～」

講師 東京医科大学公衆衛生学分野 菊池 宏幸 氏

参加 約80名